

## ENTRANCE TICKET HAVING NONCONTACT TYPE IC STUCK THEREON

Patent Number: JP11277963  
Publication date: 1999-10-12  
Inventor(s): ISEYA YUKIHIKO  
Applicant(s):: TOPPAN FORMS CO LTD  
Requested Patent: ☒ JP11277963  
Application Number: JP19980105407 19980331  
Priority Number(s):  
IPC Classification: B42D15/10 ; B42D15/10 ; G06K19/07 ; G06K19/00  
EC Classification:  
Equivalents:

---

### Abstract

---

**PROBLEM TO BE SOLVED:** To prevent forgery of an entrance ticket even when printing thereof is simple relatively, to execute guidance and leading of attendants smoothly and to improve services in their turns.

**SOLUTION:** In an entrance ticket having on the surface an indicating part 2 wherein necessary information on the entrance ticket, including various conditions on entrance and others, time information, etc., are entered, an antenna part 7 transmitting and receiving data in a noncontact mode and an IC circuit 8 having an information storage part are constituted in such a manner that they are contained in an entrance ticket base sheet 1 or that a label prepared by containing them in a base sheet separate from the entrance ticket is stuck on the entrance ticket.

Data supplied from the **esp@cenet** database - I2

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平11-277963

(43) 公開日 平成11年(1999)10月12日

(51) IntCl.<sup>8</sup>

B 4 2 D 15/10

G 0 6 K 19/07  
19/00

識別記号

5 4 1

5 2 1

F I

B 4 2 D 15/10

G 0 6 K 19/00

5 4 1 A

5 2 1

H

Q

審査請求 未請求 請求項の数 1 F D (全 4 頁)

(21) 出願番号

特願平10-105407

(22) 出願日

平成10年(1998)3月31日

(71) 出願人 000110217

トッパン・フォームズ株式会社

東京都千代田区神田駿河台1丁目6番地

(72) 発明者 伊勢谷 之彦

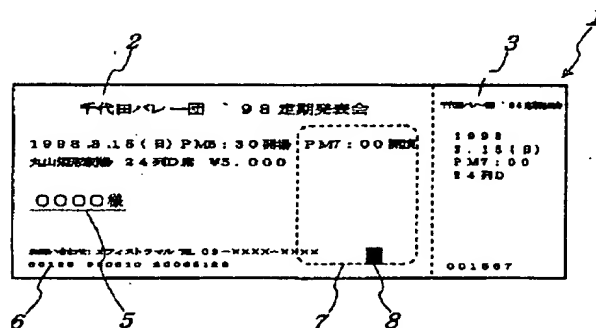
埼玉県鶴ヶ島市大字五味ヶ谷90-52

(54) 【発明の名称】 非接触式 I C を貼付した入場券

(57) 【要約】

【課題】 印刷が比較的簡易的なものであっても偽造、変造を防止でき、来場者のスムーズな案内・誘導が行え、ひいてはサービスの向上を目的とする。

【解決手段】 表面に各種入場、入園等の条件や時間情報等から必要な入場券情報が記載された表示部を有してなる入場券において、非接触方式でデータの送受信を行うアンテナ部と情報記憶部を有する I C 回路を前記入場券基材シート内に内包または、前記入場券とは別の基材シート内に内包されたラベルが前記入場券に貼着される。



**【特許請求の範囲】**

**【請求項1】** 表面に各種入場、入園等の条件や時間情報等から必要な入場券情報が記載された表示部を有してなる入場券において、非接触方式でデータの送受信を行うアンテナ部と情報記憶部を有するIC回路を前記入場券基材シート内に内包または、前記入場券とは別の基材シート内に内包されたラベルが前記入場券に貼着されてなることを特徴とする非接触式ICを貼付した入場券。

**【発明の詳細な説明】****【0001】**

**【発明の属する技術分野】** 本発明は、コンサート、ショー、各種イベント等や遊園地、動物園、水族館、博物館、美術館等の入園券を含む入場券に関し、特に入場券及び来場者の案内等を電子的に管理できる非接触式ICを貼付した入場券に関する。

**【0002】**

**【従来の技術】** 従来、コンサート、ショー、各種イベント等や遊園地、動物園、水族館、博物館、美術館等の入園券を含む入場券等は、偽造、変造を防止するために、地紋や透かし等を施し、高度な印刷技術を必要としていた。そして、あらかじめこれら印刷技術で入場券用紙が印刷されて、入場券の発行時に個別情報がプリンタ等で印字されて利用されるものが大半である。また、これら入場券の使用にあたっては、入場管理のために多くの人手を必要としていた上、来場者のスムーズな案内ができず混乱を招いていた。

**【0003】**

**【発明が解決しようとする課題】** そのため上記の入場券は、発行までに入場券用紙を厳重に管理しなくてはならない上、入場券の使用にあたって、入場管理要員の確保と、入場管理要員の教育など、その維持費用がかかる上、場内での混乱による来場者へのサービスが行き届かなかった。本発明は、これらの欠点を改善するもので、印刷が比較的簡易的なものであっても偽造、変造を防止でき、来場者のスムーズな案内・誘導が行え、ひいてはサービスの向上を目的とした非接触式ICを貼付した入場券を提供するものである。

**【0004】**

**【課題を解決するための手段】** 本発明の非接触式ICを貼付した入場券は、上記目的を達成するために、表面に各種入場、入園等の条件や時間情報等から必要な入場券情報が記載された表示部を有してなる入場券において、非接触方式でデータの送受信を行うアンテナ部と情報記憶部を有するIC回路を前記入場券基材シート内に内包または、前記入場券とは別の基材シート内に内包されたラベルが前記入場券に貼着されてなるものである。

**【0005】**

**【発明の実施の態様】** 次に、本発明を図1から図6に示す実施例に基づいて詳細に説明する。図1は、本発明の非接触式ICを貼付した入場券1の表面説明図、図2

は、図1の非接触式ICを貼付した入場券1の断面説明図、図3は、図1、2の非接触式ICを貼付した入場券1で入場できるコンサート会場21の入場及び入場案内が実施され説明図、図4は、図3で示されるのコンサート会場21に設置された案内ディスプレイ23Cの拡大説明図、図5は、図3で示されるのコンサート会場21に入場した来場者実績を集計するデータベースシステム41の概念説明図、図6は、図1の非接触式ICを貼付した入場券1の他の実施態様例を示すICラベル51の断面説明図である。

**【0006】** 本発明の非接触式ICを貼付した入場券1は、図1、図2に示されるように表面に各種入場、入園等の条件や時間情報等から必要な入場券情報が記載された表示部2を有してなる入場券において、非接触方式でデータの送受信を行うアンテナ部7と情報記憶部を有するIC回路8を前記入場券基材シート11内に内包されてなるものである。

**【0007】** また、図2に示されるように、基材シート11の表裏面に9、10のシートで挟持してなる上質紙または筆記適性をもたせた樹脂でサンドイッチされている。特に少なくとも14を樹脂で形成した場合には表面の印字部は、少なくともトナー印字適性を持たせるため各種樹脂や導電材による表面コートが施される。先ず、ノンインパクトによるトナー印字の際、転写性を向上させるために導電材を塗工し、カード表面の抵抗値を1.0×10の11乗オーム以下に設定することが望ましい。また、トナーの定着性を向上させるために各種の樹脂を塗工し、アンカーコート層が形成されることが望ましい。全体の厚みとしては0.25mmから0.5mm程度が望ましい。

**【0008】** なお、5は、入場券に入場者の氏名を表示した固有名詞情報で、特に固有名詞情報の表示を希望した入場券購入者の入場券1に、表示するものであって、IC回路8の記憶部にもこの固有名詞情報が書き込まれており、後述する案内サービスの際、IC回路8の記憶部から固有名詞情報を読取り、固有名詞を呼んでアナウンスできるようにしている。また、6は、入場券1を管理する管理番号で、IC回路8の記憶部にもこの管理番号情報が書き込まれている。また、入場券1の右側の半券3は、従来の入場券の入場用半券ではなく、パンフレットやサービスドリンク等の引換券として利用される。

**【0009】** このように構成された、非接触式ICを貼付した入場券1は、図3に示されるようにコンサート会場21では、非接触式ICを貼付した入場券1を持った入場者がゲート22を通過することにより、従来のように人手を介して半券を切る作業がなく入場手続きができる。不正に入場しようすると、公知技術に基づいてゲートが閉まって、入場できなくなるようになっている。一方、ゲート22の入場データは、図5に示すようにデータ管理システム41がネットワークを通じてデータ蓄

積し、データベース43に蓄えられるようになっている。

【0010】また、コンサート会場21内に入場した、来場者は、自分の指定された座席37がどこかを確認する場合、適当な案内ディスプレイ23A、23B、23C、23Dについて確認することができる。例えば、近くの案内ディスプレイが23Cであったとすると、図4に示すように、リーダ31に非接触式ICを貼付した入場券1を近づけると、指定された座席35付近の場所が表示されると共に、座席35が点滅し、近くの開場入り口から座席35までの案内ガイド線34が表示される。その際、前述したように固有名詞情報の表示を希望した入場券購入者の場合、「〇〇様の座席は、〇〇番入り口からお入り下さい。」等と音声で誘導されるようになっている。

【0011】本願発明の非接触式ICを貼付した入場券1は構成されているが、上記実施態様に限定されるものではなく、アンテナ部57と情報記憶部を有するIC回路58は、図6に示されるように前記入場券とは別の基材シート61内に内包され、この基材シート61の表裏面に59、60の上質紙または樹脂などのシートで挟持してなるラベルが前記入場券1に貼着されてなるものであってもよく、裏面に粘着部62を形成した使用前のICラベルが剥離台紙70に保持されてなるものであっても良い。なお粘着部62は、不乾燥性粘着剤である。

【0012】また、非接触式ICを貼付した入場券1であれば、チケット購入代金に併せて、会場内のサービス（ドリンク、パンフレット等）用のポイント、あるいはプリペイドカード等の機能を持たせ、利用時にIC回路

内の金額値を減算されるようにしても良い。

【0013】

【発明の効果】本発明の非接触式ICを貼付した入場券は、以上説明した構成により、印刷が比較的簡易的なものであっても偽造、変造を防止でき、来場者管理要員を減少させた上、来場者の入場データやスムーズな案内・誘導が行え、ひいてはサービスの向上をを提供できる等の効果を奏する。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の非接触式ICを貼付した入場券1の表面説明図。

【図2】図1の非接触式ICを貼付した入場券1の断面説明図。

【図3】図1、2の非接触式ICを貼付した入場券1で入場できるコンサート会場21の入場及び入場案内が実施され説明図。

【図4】図3で示されるのコンサート会場21に設置された案内ディスプレイ23Cの拡大説明図。

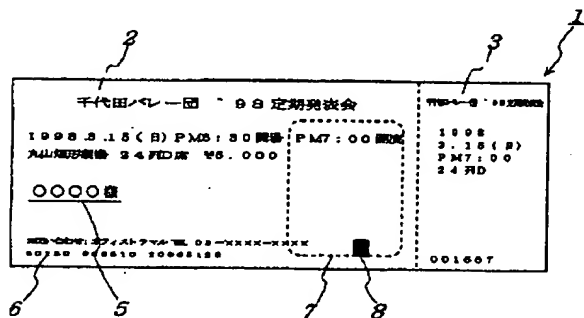
【図5】図3で示されるのコンサート会場21に入場した来場者実績を集計するデータベースシステム41の概念説明図。

【図6】図1の非接触式ICを貼付した入場券1の他の実施態様例を示すICラベル51の断面説明図。

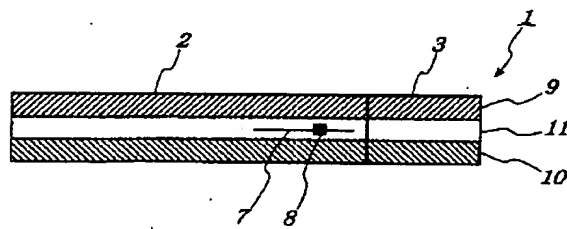
【符号の説明】

- 1 非接触式ICを貼付した入場券
- 2 表示部
- 7 アンテナ部
- 8 IC回路

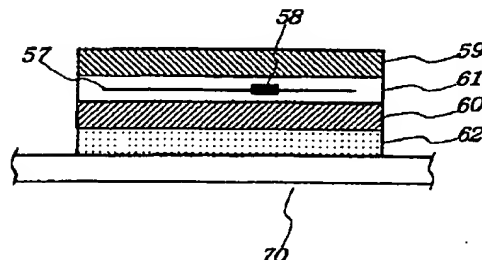
【図1】



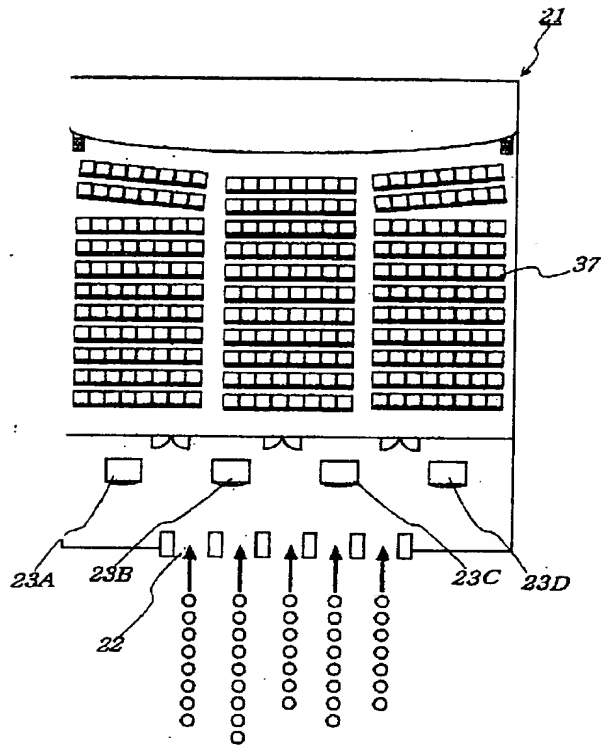
【図2】



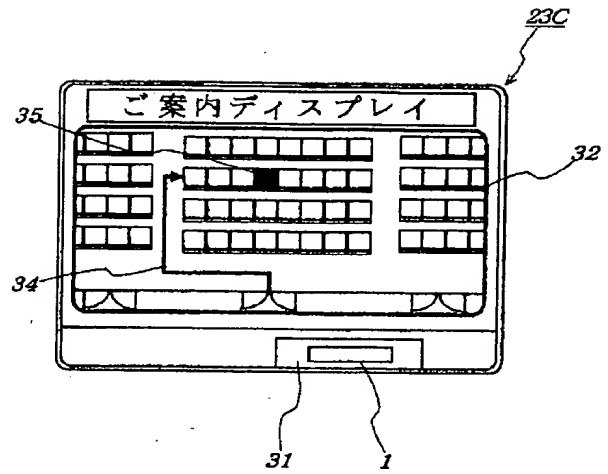
【図6】



【図3】



【図4】



【図5】

